

# 議会報告会 今田会場報告書 (1) 議会報告について

担当班： 第2班 班代表者：上田 英樹

概 要			
地区名 : 今田地区 日時 : 令和5年11月18日(土) 19:00~ 場所 : 今田まちづくりセンター 参加人数 : 5人(男5人・女0人)	<b>【出席議員】</b> 上田、森本、 園田、安井、 齋藤、堀毛	(1) 開会あいさつ : 上田英樹 (2) 議会報告 : 安井博幸 (3) 質疑応答 : 各自 (4) 意見・提言等 : (5) 閉会あいさつ : 園田依子	挨拶・総括 : 上田英樹 司会進行 : 森本富夫 報告 : 安井博幸 記録 : 齋藤泰博 堀毛宏章 会場(マイク) : 園田依子

## 【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
① 現在は通年議会となり、水無月とか長月とかの名前がつけられているが、普段使わないような言葉をなぜ使うのか。6月議会や9月議会でも良いのではないか。 また、8月18日会議が「臨時会」になっているが、通年議会なら臨時というのは必要ないと思うがどうか。	① 今の意見は、議会に持ち帰って協議します。  →令和5年7月発行の丹波篠山市議会だよりNo.106において通年会期の内容を説明しており、水無月会議(6月)、長月会議(9月)、師走会議(12月)、弥生会議(3月)として、今後も通称を使用していきます。
② 自治会のワクワクする取り組みを支援するとあるが、地域の課題解決には自治会単位より地域全体での取り組みが必要ということで「まちづくり協議会」が出来たと認識している。何故、今になって自治会主体に戻すのか。	② ワクワクの取り組み支援については、令和3年、市が「ワクワク農村未来プラン」を策定し、各集落でワクワクする取り組みに補助金を出すというものです。 少子高齢化で運営が大変な自治会も多いですが、その存在は重要で、自分たちの集落は良い所だなど、もう一回見直していただいて、活性化を図っていくというのがワクワク農村未来プランで、自治会は諦めることなく活性化に取り組むことが必要と考えています。 ただ、一過性の補助金ではなく、次の世代につながるワクワクする取

	<p>り組みにしていって欲しいと思っています。</p> <p>先進自治会の事例も見て、集落の将来像を見据えながら行政とともに地域課題の克服に取り組んでほしいと思います。</p> <p>自治会運営が困難な中では、新たなイベントを打つのは大変だと思います。単なる備品の購入にワクワク補助金を充てるのは難しいですが、例えば集落の公民館の協議場所として畳の間にテーブルとイスを置きたいという所がある場合は、担当課に事情を説明いただきたいと思います。</p>
<p>③ 今田こども園の増額補正だが、業者が儲かったと言っていると聞いている。金額が高すぎるのではないか。きちんと調査し報告してほしい。</p> <p>④ さくら協会の補正だが、てんぐ巣病になる前に樹木を消毒するなど、行政はもっとやるべきことがあったのではないか。今ごろになって対応しても手遅れではないか。</p> <p>⑤ 文化財調査のため、丹波焼の考古学調査をするとのことだが、具体的にどのようなことをするのか。</p>	<p>③ ここでは回答はむずかしいので、持ち帰り対応します。</p> <p>→ 委員会審査においても慎重に審議し、業者見積と市の設計部署での積算を比較して工事費を算出しており、適正な増額補正となっています。</p> <p>④ クラウドファンディングによる寄付金で、てんぐ巣病対策を行います。遅いという指摘ですが、市木なので今からでもやれることはやっていきたいと思っています。</p> <p>⑤ ここでは回答はむずかしいので、持ち帰り対応します。</p> <p>→ 最先端技術による丹波焼窯跡群測量調査と発掘調査を行い、三本峠穴窯、江戸時代の登り窯から現在の登り窯への移行を詳細に記録し報告書にまとめていきます。</p>
<p>⑥ ワクワク農村補助金で備品購入も可能なのか。</p> <p>⑦ 今田こども園が出来ると、子どもの安全確保のため近くの交差点に信号が必要になると考え警察に相談したが、交通量から考えて難しいということだったので、信号が無理なら他の対策を検討してほしい。</p>	<p>⑥ 補正の委員会審査でも質問しましたが、自治会にとって必要性が高くワクワクする内容であれば大丈夫ということでした。申請前に担当である地域振興課に確認してほしいと思っています。</p> <p>⑦ 子どもの安全という意味で、今のご意見は重要なことだと思うので、今後、注視していきたいと思っています。</p>

<p>⑧ 自治会については高齢化や人の減少などさまざまな課題があるが、ワクワク農村補助金の前に、もっと根本的なところで解決すべき問題があるのではないかと。また、市内には移住者も増えているということだが、どれぐらいの移住者があり、自治会には加入されているのか。</p> <p>また最近では、全般に自治会に加入しない人が多くなっていると聞かれますが、自治会の存続という意味では非常に問題だと思います。</p> <p>今田でも自治会加入率が下がっており脱退もある。広報配布やごみステーションの利用などで問題がある。</p>	<p>⑧ 移住者数については後日報告します。自治会加入率が下がっているのは事実だと考えています。</p> <p>昨年度は転入者が転出者より多く、社会増になっていますが、自然減が400人近くになっています。</p> <p>転入者が多いということですが、現在、外国人が1,035人となっており、内、約500人がベトナムからの移住者です。</p> <p>議会での自治会担当は民生福祉常任委員会なので、自治会の諸問題については所管事務調査などで対応を検討したいと思っています。</p> <p>→ 丹波篠山暮らし案内書を通しての移住者数は、平成22年度から平成25年度までは一桁台(4世帯～7世帯)でしたが、令和3年度は77世帯、令和4年度は68世帯、令和5年度(11月末現在)は57世帯と大幅に増加し、累計で387世帯となっています。</p>
<p>⑨ 市から自治会宛てに防犯カメラの設置等の案内があるが、申請手続きに慣れていないと相当の手間がかかる。</p> <p>今、3か月に一回ぐらいは地域サポート職員が自治会の会議に入ってくれるので、その職員担ってもらえることは出来ないかと。</p>	<p>⑨ 街路灯の設置などについても自治会の取り組みにはかなり差が出てきています。そういう意味でも地域サポート職員の役割については課題があると認識しています。</p>

# 議会報告会 会場報告書 2部 担い手不足

今田地区

## A こんな地域になったら良いな

### 【参加者意見・ソフト】

- ・活気のある地域
- ・新しい知恵を取り入れられる地域
- ・人間関係が築かれている地域
- ・全国から注目される地域
- ・若い人が多い地域
- ・みんなが笑って生活できる地域
- ・風通しのよい地域
- ・移動が楽な地域

### 【参加者意見・ハード】

- ・特になし

## B Aの達成に足りない地域の担い手

### 【参加者意見・ソフト】

- ・農業者
- ・自治会や神社の役員
- ・祭礼行事等の担い手
- ・支所の幹部職員

### 【参加者意見・ハード】

- ・特になし

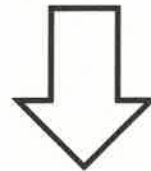
## C Bを増やすためのアイデア・提案

### 【参加者意見・ソフト】

- ・SNS等を活用した地域の魅力発信
- ・各種役員の減
- ・全てについての簡素化
- ・自治会の統合も考える必要がある
- ・サポート職員による自治会への支援
- ・市議会議員の地域割り（小選挙区）

### 【参加者意見・ハード】

- ・特になし



## 理想の地域の将来像は

B不足している担い手は

「自治会や神社等の役員」 で

C担い手不足を解決するためには

「各種組織の簡素化や魅力を発信すること」 で

A将来的にこの地域は

「新しい知恵を取り入れ、みんなが笑って生活できる活気のある地域としたい」

## 【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・ハード整備よりソフトの充実を望み、特に地域コミュニティの大事さとその改革、そして担い手を望む声と、行政機能の充実を望む思いが強いが、反対に地域に担い手がないので、行政に頼るようになるとの意見もあった。